



## 霧氷 幻想の銀世界 函館七飯スノーパーク

【七飯】函館七飯スノーパークで木々に氷の粒が附着する「霧氷」が見ごろを迎えている。多くのスキーターが集まる標高約千坪のケレンデには、幻想的な銀世界が広がっている。

回スノーパークの佐伯秀信係長によると、雪が降って氷点15度近くの冷え込みが続くと霧氷ができる。今季は1月中旬ごろから、ケレンデに立ち並ぶナヤカエノの木に氷が付き始めた。暖冬の影響で氷が解けることもあったが、2月以降はきれいな状態が続いているという。

カメラを持って霧氷を撮影に来る人もいるほか、回スノーパークでは外国人観光客にケレンデの霧氷見学ツアーなども開催している。佐伯係長は霧氷の中をスキーしたり、カメラで写真

を撮ってみたいとそれを楽しんでほしいと呼び掛ける。霧氷の長さは月いっぱい、問い合わせは回スノーパーク0138・67・3325へ。(池野上選)

旬感  
ガイド

shanku  
guide

木の枝や幹に霧氷が付き、幻想的な銀世界が広がる函館七飯スノーパーク(石川崇子撮影)